

「IT-MatexⅢ」導入事例
日本コルマー株式会社様

一世紀のノウハウを活かし
国内外のお客様に満足
いただける製品づくりを
続けています



日本コルマー株式会社
取締役 執行役員 生産本部担当
神崎 茂樹様

独自に開発した新しい酵母「アクアライザー」を配合したシリーズ(写真奥の青いパッケージ)など、オリジナルの化粧品も生産



一世紀の歴史が培った
高い技術力と開発力

1912(大正元)年に創業した日本コルマー株式会社様は、国内最大の化粧品OEM = Original Equipment Manufacturing(委託生産)メーカー。国内4カ所の生産拠点と研究所だけでなく、中国や韓国など海外にも進出。国内外の大手化粧品メーカーや製薬会社の有名ブランドコスメ、ドラッグストアで購入できるボディケア、ヘアケアなど幅広い商品の生産を担っています。

「当社には創業から一世紀の歴史が培った膨大なノウハウがあり、それはレシピとして活用されています。例えば、口紅などの色味は、天候などの環境に左右されたり、顔料のロットぶれによる色ぶれも影響がでます。そこで色味を合わせる微調整に対応できるのが当社の最大の特長です」と語ってくださいたのは、日本コルマー株式会社 取締役 執行役員 生産本部担当 神崎茂樹様。

さらに同社は、100名以上の開発技術者とマーケティング部を有することから、その開発力と技術力を活かして「ODM = Original Design Manufacturing(開発生産)メーカー、総合コンサルティングパートナーとしても高く評価されています。

「今の時代、100円ショップでも化粧品は買えますが、化粧品を自分へのご褒美として購入する方もいらっしやいます。それぞれの品質はもちろん、パッケージのデザインなど、お客様の化

安心して
計量できるよう
になりました



柏原工場 柏原計量部
マネジャー
横田 彰平様

化粧品に求めるものは以前よりもますます多様化しています。その思いに応える商品づくり。それが当社の役割だと考えております」

レシピを最大限に活用でき
膨大な数の原料の管理も可能に

化粧品業界は日進月歩。原料のナノ化や細胞レベルでの効果をねらったものなど、最先端の研究成果を活用した新製品が毎シーズン発表されています。

当然、同社が対応する数も増え、商品自体のクオリティも求められる中、工場のトレーサビリティ化を考え始めたのは、2008年ごろのことでした。

「私たちが取り扱う原料の数はざっと7000点ほど。製品の中で多いものでは30点以上の原料が配合され、中には最後の二文字が違うだけの名前が似ている原料もあります。形状も容器が

ら出すと見分けがつかないものが多く、非常に取り換えやすいんです。さらに、原料はただ加えて混ぜればよいというわけではありません。釜に入れるタイミングや温度、混ぜ方にも細かいノウハウがあります」

トレーサビリティシステムもさまざま。主なメーカーを見ていく中で、すでに導入していた計量器がそのまま使用できることもあり、2010年に「IT-MatexⅢ」の導入に至りました。

「トレーサビリティ化によって当社の最大の武器である膨大なレシピを最大限に活かすことができるようになると同時に、原料の有効期限などを管理することも可能になりました」



日本コルマー株式会社
NIHON KOLMAR CO., LTD.

日本コルマー株式会社 柏原工場
大阪府柏原市円明町16番2号
TEL:(工場)072-977-9440 (研究所)072-977-9431
http://www.kolmar.co.jp/



原料間違いや計量ミスを回避し
現場の作業負担を軽減

柏原工場には、水物関係(化粧水など)と粉物関係(ファンデーションなど)に分けた2ラインがあります。柏原計量部マネジャー横田彰平様にもお話を伺いました。

「計量部では、毎日一人当たり2〜3製品の処方計量を担当し、40〜50点の原料を取り扱います。以前はダブルチェックなどを行い、原料間違いや計量ミスを回避していましたが、【IT-MatexⅢ】導入後は、バーコードを読み取るだけで、それらのチェックが行えるので、作業負担も減り、安心して計量ができるようになりました。さらに、職人的な技量が必要とされた特殊な計量を行う際も、トレーサビリティ化によってデータが蓄積されたことで、誰でも行うことができるようになりました」



「【IT-MatexⅢ】導入前は、原料のトレース記録を手書きしたり、パソコンに打ち込むなどの付帯業務が多く、作業が時間外に及ぶこともありました。」「今はスキャナーをかざすだけなのでその手間を省くことができ、必要な原料がどこにあるかどの棚に戻せばいいかが指示され先入れや先出しの間違いがなくなりました」(神崎様)

高品質で新しい
他にはない商品づくりを

最後に、今後について伺いました。

「これからは、じゃばら(和歌山県産の柑橘類)果皮エキスやデラウエア果皮エキスなど、新しい素材の研究にも注力し、他社にはない商品を提案していきたいと考えています。また、海外のお客様にも満足していただける高品質な商品づくりを行ってまいります」
国際的にも信頼の高い日本の化粧品。訪日外国人による爆買いのニュースも記憶に新しいところ。私たちが普段使っている化粧品やボディケア商品にも、同社で開発・生産された商品が必ずあるはずです。

工場見学
させていただきました!

正確な計量が
高品質な
商品づくりの基本



今回、水物関係の計量を行う秤量室で計量作業から生産部に払い出すまでの過程を見学させていただきました。

1 指示書発行 → **2 原料取り出し**

「IT-MatexⅢ」でバーコードの付いた指示書(レシビ)を発行

原料置場から原料を取り出し、秤量室へ

3 計量作業

計量後、ラベルを発行し、原料に貼付する

原料の入荷時に貼付されたラベルをスキャニング(写真上)した後、計量する(写真下)

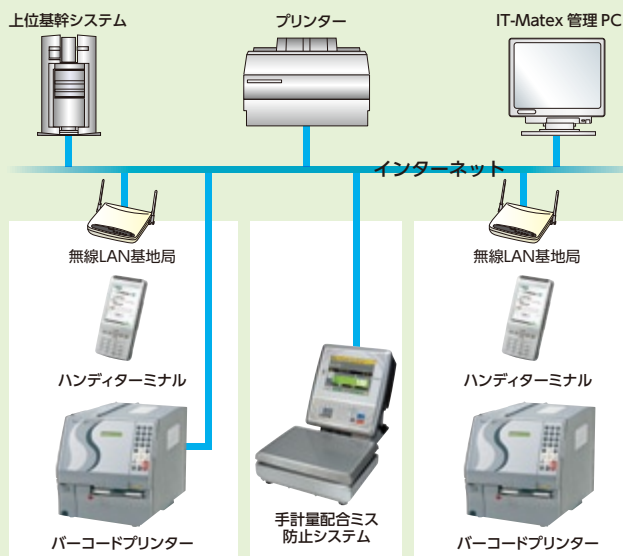
4 配合へ

製造部のラインへ払い出しを行う。ラベルのバーコードを読み込み、投入検品を行う。

現場のさまざまなリスクを回避「安心・安全」をサポート!

原料トレーサビリティシステム

IT-MatexⅢ



入庫・保管

配合

製品出荷

お問合せ